



学校だより 第3号
令和7年 6月
富山市立豊田小学校

運動会を終えて思うこと

校長 吉野 哲

5月24日（土）に運動会を行いました。当日は肌寒い天気だったにも関わらず、多くの保護者や地域の方々にご来校頂き誠にありがとうございました。開会式では運動会スローガンを引用し、「笑顔あふれる運動会にしましょう」と話をしました。競技に取り組む子供たちの表情は、まさに笑顔があふれていました。天候の関係で、午後の競技を月曜日に持ち越さなければならなかったのは残念でしたが、火曜の午前中に行った、運動会パート2でも多くの保護者の方々から声援を受け、行うことができました。閉会式で優勝旗や大賞カップを授与したときの団役員の6年生の姿はとても立派でした。

さて、運動会は競い合うという特性上、どうしても勝ち負けという結果が伴います。勝ったらうれしい、負けたら悔しいという思いが当然のように生まれます。しかし、私は負けてしまったことが全くだめなこととは思いません。結果も大事ですが、過程も大切だと思うからです。今回の運動会という学校行事に向けて、各団、各学年の子供たちは一生懸命練習してきました。閉会式の後、各団で振り返りをしていましたが、優勝できなかったある団では6年生



<力強くスタートダッシュ！>

が「みんな今までありがとう」と素直な気持ちを語っていました。それは、優勝はできなかったけど悔いはなく、共に勝利を目指して戦った仲間の絆を感じていたのではないかと思います。結果は勝つか負けるかだけですが、競い合う姿や、競い合うまでの取組には賞賛されるべきことが多く含まれているのです。そして子供たちはその結果から多くのことを学んだのではないのでしょうか。例えば、

「負けても、団の仲間と協力して最後までがんばることの大切さを学んだ」

「がんばったら、いつもより力を出すことができる自分に気付いた」

「運動会は嫌だったけど、夢中になってやってみたら思い出に残るほど楽しかった」

などです。学校では、振り返りを大切にしながら、学んだことや新しく知ったことを明確にしなが、子供たちの今後の生活がよりよくなるようにしていきたいと思います。そして、数多くの学びを自分のくらしに生かし、着実に成長していく豊田っ子になってほしいと思った運動会でした。最後まで温かいご声援ありがとうございました。



<優勝おめでとう！>